

研究区分	教員特別研究推進 地域振興
------	---------------

研究テーマ	持続可能な介護サービスの開発と提供に向けた今後の展開と諸課題の解決の検討				
研究組織	代表者	所属・職名	経営情報学部・講師	氏名	天野 ゆかり
	研究分担者	所属・職名	経営情報学部・教授	氏名	東野 定律
		所属・職名	経営情報学部・講師	氏名	木村 綾
		所属・職名		氏名	
	発表者	所属・職名	経営情報学部・講師	氏名	天野 ゆかり

講演題目	人口減少社会における持続可能なケアサービスの提供と介護人材確保の検討
------	------------------------------------

研究の目的、成果及び今後の展望	<p>令和6年度は人口構造や社会経済状況の変化を踏まえ、「地域包括ケアシステムの深化・推進」「自立支援・重度化防止に向けた対応」「良質な介護サービスの効率的な提供に向けた働きやすい職場づくり」「制度の安定性・持続可能性の確保」を基本的な視点として、介護報酬改定が実施される。とりわけ、介護人材不足が深刻化する中において、人材の確保と介護サービスの質の確保は喫緊の課題となっている。今後は処遇改善によるベースアップやICT・ロボットの活用、生産性の向上により効率的で働きやすい職場環境づくりへの取り組みが一層求められる。さらに、介護人材の不足に関しては、外国人介護人材の受入れを推進するため、技能実習制度の見直しも検討されている。</p> <p>そこで、本研究では、介護人材確保と定着に関する政策的動向や、地域実践の好事例を調査し、人口減社会における人材不足への対応について考察することを目的とした。本研究の調査対象は、人口減少と深刻な高齢化に加え、財政破綻を経験した夕張市職員や地域住民、外国人介護人材の受入れを推進している法人、外国人介護人材に関する国の政策を担当していた職員とした。</p> <p>夕張市では、高齢化が5割を超える中、独居となった高齢者の孤独死や孤立を防ぐため、近隣住民同士が自発的に見守り・声掛け、つどいの場を設けることでこれらの対策が行われていた。また、夕張市が4つの民間団体と包括協定を結び、高齢者宅へのお届けサービスや、異変を感じた際の通報、保護、救急車の手配などに対応していた。このような自治体においても、住民の支え合い、民間企業との連携により、住み慣れた地域での生活を維持することが可能となっていることが分かった。</p> <p>外国人介護人材については、現在主に4つの在留資格がありその制度主旨にのっとり受入れがされている。介護福祉士養成施設の留学生の他、EPA（経済連携協定）、技能実習、特定技能とそれぞれ目的は異なるものの、介護福祉士国家試験に合格すれば、在留資格「介護」が得られ、日本で働き続けることが可能となる。現在、技能実習制度と特定技能の制度や、外国人介護人材の業務の在り方に関する検討がされており、今後は人材不足に対応する労働力として外国人を受け入れていき、多様な活躍の場の提供と定着支援を行い、人材獲得の国際競争が激化する中、日本が「選ばれる国」となるべく環境整備が求められる。</p> <p>以上のことから、労働人口が減少する中、インフォーマルサービスの開発、活用に加え、介護が日本人にも外国人にとっても魅力的かつ長く働ける職種となるよう、処遇改善や外国人介護人材関連制度の整備、予算の確保に加え、地域住民としての生活しやすさについても検討する必要が示唆された。</p>
-----------------	---